



中海の自然再生

もっと 知ろう! 語ろう! 始めよう!!



中海は、かつては赤貝（サルボウガイ）をはじめとする魚介類が豊富な汽水の湖で、浅場に繁茂するアマモやオゴノリなどの海藻類は肥料として利用され、サツマイモや綿花などの農産物の生産を支えていました。

私たち中海自然再生協議会は、人と自然が共生していた昭和20年代後半から昭和30年代前半の「豊かで遊べるきれいな中海」を目指し、豊かな汽水湖の環境と生態系、そして心に潤いをもたらすきれいな自然を取り戻すとともに、かつての中海の自然環境や資源循環を再構築するため、様々な取り組みを行ってきました。

今年、協議会の活動は15周年を迎え、来年度から新たな取り組みを開始する予定です。そこで今回、協議会では中海の自然を再生するための活動のさらなる発展のため、中海の底質環境改善とオゴノリを主とした海藻類の利活用について報告し、広く中海周辺の方々と今後の協議会の活動について意見交換を行いたいと考えています。多くの皆様のシンポジウムへの参加をお願い致します。

●スケジュール

日時 2022年11月5日(土) 13:00~17:00 (12:30受付開始)

場所 島根大学教育学部棟 3階35番教室

Zoom
同時配信

内容

◆第1部

- 13:00~13:05 趣旨説明 (中海自然再生協議会会長 國井秀伸)
- 13:05~13:30 ◇中海自然再生協議会による自然再生事業の概要 (國井秀伸)
- 13:30~13:50 ◇自然再生事業とSDGs
(認定NPO法人自然再生センター理事長 松本一郎)

13:50~14:00 休憩

◆第2部

- 14:00~15:30 窪地の環境修復
 - ◇中海細井沖浚渫窪地の水質・底質の特徴と環境修復の取り組み (島根大学生物資源科学部教授 桑原智之)
 - ◇中海錦海穂日島沖浚渫窪地の埋め戻しによる水質・底質の影響について (米子高専総合工学科准教授 藤井貴敏)
 - ◇数値シミュレーションによる中海浚渫窪地内の水塊の拡散評価 (島根大学エスチュアリー研究センター教授 矢島 啓)

15:30~15:40 休憩

◆第3部

- 15:40~16:40 海藻の利活用
 - ◇藻刈りから考える中海の自然再生の可能性 (島根大学生物資源科学部准教授 倉田健悟)
 - ◇オゴノリング ～中海のローカルSDGs～ (認定NPO法人自然再生センター副理事長 小倉加代子)

16:40~17:00 意見交換と締めくくり

◆聴講は無料ですが、事前登録受付が必要です◆

お問合せ・お申し込みは事務局まで、会場参加またはZoom参加をお知らせください
電話：:0852-21-4882 メール:info@sizen-saisei.org

会場参加は60名までとさせていただきます。
Zoomでの参加は100名まで可能です。

●個人情報につきましては、上記利用以外には一切の利用を行いません。

●中海自然再生センターの主な事業

1. 中海の浚渫窪地修復事業

干拓事業の負の遺産である貧酸素状態の湖底の浚渫窪地の埋め戻し環境修復事業をモニタリングすることで、生物が棲みやすい環境条件を把握しようとしています。



2. 海藻の回収及び活用事業

オゴノリ（藻）を用いエビデンスをつけながら自然再生・循環型社会を再構築するために住民を巻き込んだ事業展開に挑戦しています。人、資金、自然が好循環し未来につなげる持続可能な社会を実践するローカルSDGS価値を探っていける事業展開です。



問合せ先：認定NPO法人自然再生センター事務局
〒690-0064 松江市天神町127

電話：:0852-21-4882 メール:info@sizen-saisei.org

主催：中海自然再生協議会

共催：認定NPO法人自然再生センター

後援：島根県・鳥取県・島根大学・米子工業高等専門学校・松江工業高等専門学校